

研究課題：大腿骨近位部骨折患者に対する薬剤師の再骨折予防指導後の骨粗鬆症薬導入率に関する観察研究に関する情報公開

1. 研究対象

2015年4月1日から2017年3月31日の間に一宮市立市民病院に大腿骨近位部骨折で入院された方

2. 研究目的・方法・研究期間

高齢者人口の増加に伴い、骨粗鬆症関連骨折である大腿骨近位部骨折も増加の一途をたどっています。本骨折は生活の質を低下させ、寝たきりの原因となるばかりではなく、受傷後の生命予後を確実に短縮させるため、医療経済の問題と併せて大きな社会問題とも考えられます。さらに新たな骨折をきたしやすく、2次骨折は1次骨折後早期に出現しやすいため、上記患者群への骨粗鬆症治療開始はより急務とされています。

しかし、入院中はDPCによる医療費節約、医師の多忙な診療業務のため、骨粗鬆症治療が開始されないままであることも多いです。

そこで、入院中の大腿骨近位部骨折患者を対象に薬剤師が再骨折予防指導を行い、骨粗鬆症サマリーとして、患者の骨粗鬆症治療歴や腎機能、Ca値、リスクファクターの他、適宜YAM値や骨代謝マーカーを記載し、医師がより適切な骨粗鬆症治療を速やかに開始できるように情報をまとめて、電子カルテに記載することは、骨粗鬆症治療開始に有用であると考えられます。

本研究の目的は薬剤師の大腿骨近位部骨折患者に対する骨粗鬆症治療への介入が、退院後の外来受診時における骨粗鬆症治療開始に及ぼす影響について評価検討することになります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料・情報：病歴、治療歴、薬歴、カルテ番号等

4. 外部への試料・情報の提供

データの提供は、特定の関係者以外はアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者が保管・管理します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記連絡先までお問合せください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

紹介先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒493-0001 愛知県一宮市木曾川町黒田字北野黒 165

一宮市立木曾川市民病院

電話番号 0586-86-2173

FAX 0586-84-3231

担当者：七野洋江

研究責任者：

一宮市立木曾川市民病院 薬剤局

副薬剤局長 七野洋江

研究代表者：

一宮市立木曾川市民病院 薬剤局

副薬剤局長 七野洋江

.....以上